

コミュニティ・スクール (学校運営協議会)



学校



地域



保護者

1 学校運営協議会を設置した学校

コミュニティ・スクール = 学校運営協議会を設置した学校

(1) コミュニティ・スクールとは

「地域とともにある学校づくり」を進めるために、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

(2) 学校運営協議会とは

保護者代表や地域住民、地域学校協働活動推進員、学校代表などで、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。



《法的根拠》

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第 47 条の 5) より

第四十七条の五

- 1 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校のうちその指定する学校（以下この条において「指定学校」という。）の運営に関して協議する機関として、当該指定学校ごとに、学校運営協議会を置くことができる。
- 2 学校運営協議会の委員は、当該指定学校の所在する地域の住民、当該指定学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者その他教育委員会が必要と認める者について、教育委員会が任命する。
- 3 指定学校の校長は、当該指定学校の運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について基本的な方針を作成し、当該指定学校の学校運営協議会の承認を得なければならない。
- 4 学校運営協議会は、当該指定学校の運営に関する事項について、教育委員会又は校長に対して、意見を述べるることができる。

(3) コミュニティ・スクールの目的は

- ア 可能な限り地域の人を教育活動に取り入れ、「子どもたちの教育を地域の人とともに実践し、地域とともにある学校づくり」を目指す。
- イ 学校を核として、地域の大人と子どもがともに学びあい、関わり合うことを通して、**地域コミュニティを活性化**させる。
- ウ 地域や保護者、学校が協働し、**学校が抱える課題の解決**を目指す。

＜子どもたちにとっての魅力＞

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。



＜教職員にとっての魅力＞

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。



＜保護者にとっての魅力＞

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。



＜地域の人々にとっての魅力＞

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。



2 ○○校区のコミュニティ・スクール

(1) 学校運営協議会設置の目的

保護者・学校・地域の組織的な連携・協働により、学校の教育目標の具現化を通して、() 子どもたちを育てる。(・学校にする・地域にする。等)

※ 未来志向 or 課題解決

